

塾長の独り言 NO81 H19 .5 .25

「エレベーター事件」

～ ～ 始末と算用 ～ ～

昨夜遅く、静岡から千葉県八千代市の自宅に戻ってきた時の出来事です。

地下鉄、緑ヶ丘の駅からマンションまでは、専用バスが出ています。

そのマンション行きのバスに乗って、マンションまで約5分。

バスに乗車する時、運転手に挨拶する人もいるし、何も言わずに無口のままの人もそれぞれです。

ほとんどの人たちは、マンションの駐車場に着いた後、バスから降りるときも、黙ったまま。

「おやすみなさい！」「お疲れさま！」「ありがとう！」

何か一言でもあってもいいのに！

と私は思うが。

皆さん、疲れているんでしょうね。

「ありがとうございます！」

「おやすみなさい！」

私は少し元気に、運転手さんにバスから降りる時に挨拶しています。

自画自賛ですが、えらいぞ！

我が家は8番館ですから、一番遠くになります。

皆さん、バスから降りると、足早に…。

私も自分の棟にやっとなついて、玄関を開け、エレベーターへ。

すると15階の表示。

少し、がっかり！

前の人 が 15 階で降りて、そのままに。

エレベーターのボタンを押して待つことに。

よく考えると、1階にあることは、ほとんどない。

たまに1階にあり、エレベーターにすぐに乗れるとラッキーと思えます。

我が家は12階。

最近、私は12階の我が家の階を降りると、エレベーターの1階のボタンを押すようにしています。

何故か？

それは、次の人の為に！

さて、あなたはエレベーターを降りた後、どうしていますか？

<コメント>

始末と算用」…江戸時代の日本人の常識。

始末」…初めと終わりをしっかりと。

始末とは、次の準備のこと。始末ができない！始末が悪い！

エレベーターから降りるとき、1階のボタンを押すかどうか。

ある社長が、社員のその心遣い、行動を見ていると聞いたことがあります。

世の中はちょっとした行動や心遣いを見ている人がいるんですね。